



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 淳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 牧 清忠

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,044	△2.8	274	△16.0	318	△12.7	235	△4.3
28年3月期第1四半期	5,189	3.5	326	46.3	365	37.0	246	41.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	33.89	—
28年3月期第1四半期	35.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	19,962	17,517	87.8	2,520.94
28年3月期	20,455	17,463	85.4	2,513.18

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 17,517百万円 28年3月期 17,463百万円

2. 配当の状況

	第1四半期末	年間配当金			合計
		第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,500	1.8	670	2.1	720	1.5	480	1.7	69.08
通期	21,500	2.1	1,350	1.7	1,450	2.1	950	0.8	136.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	8,832,311 株	28年3月期	8,832,311 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	1,883,517 株	28年3月期	1,883,517 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	6,948,794 株	28年3月期1Q	6,948,994 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(3) 追加情報	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が緩やかに続きましたが、円高の進行や新興国経済の減速懸念、さらに、欧州におけるブレグジット問題が今後の世界経済に与える影響への不安心理の増大など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第1四半期累計期間の売上高は5,044百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は274百万円（前年同期比16.0%減）、経常利益は318百万円（前年同期比12.7%減）、四半期純利益は235百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は946百万円（前年同期比3.8%増）と伸びましたが、セグメント利益は94百万円（前年同期比16.7%減）となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は1,135百万円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益は19百万円（前年同期比59.1%減）となりました。

チルド食品部門は、ゆで麺のアイテムが低調に推移し、売上高は831百万円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益は経費節減に努め86百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

即席麺部門は、全体的に低調に推移し、売上高は1,677百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は65百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

その他は、水産物の取扱量が若干減少し、売上高は452百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント利益は7百万円（前年同期比26.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期会計期間末における資産の部は19,962百万円となり、前事業年度末と比べ493百万円減少しました。これは主に、流動資産において関係会社短期貸付金が2,000百万円増加し、現金及び預金が2,136百万円、売掛金が299百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,445百万円となり、前事業年度末と比べ547百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が265百万円、買掛金が214百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は17,517百万円となり、前事業年度末と比べ53百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が42百万円減少し、利益剰余金が96百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ0百万円増加しております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,925	5,788
売掛金	2,050	1,751
商品及び製品	389	477
仕掛品	25	22
原材料及び貯蔵品	232	222
関係会社短期貸付金	3,500	5,500
その他	129	90
貸倒引当金	△5	△7
流動資産合計	14,247	13,845
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,866	1,838
機械及び装置（純額）	1,272	1,239
その他（純額）	1,107	1,105
有形固定資産合計	4,246	4,182
無形固定資産	44	40
投資その他の資産	1,917	1,893
固定資産合計	6,208	6,116
資産合計	20,455	19,962
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,394	1,179
未払法人税等	331	66
賞与引当金	179	68
役員賞与引当金	17	6
その他	462	488
流動負債合計	2,383	1,808
固定負債		
退職給付引当金	547	574
役員退職慰労引当金	60	62
固定負債合計	608	636
負債合計	2,992	2,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	18,213	18,310
自己株式	△3,456	△3,456
株主資本合計	17,078	17,175
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	384	341
評価・換算差額等合計	384	341
純資産合計	17,463	17,517
負債純資産合計	20,455	19,962

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	5,189	5,044
売上原価	4,609	4,504
売上総利益	580	539
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	73	74
賞与引当金繰入額	9	8
役員賞与引当金繰入額	4	6
退職給付費用	6	8
役員退職慰労引当金繰入額	2	1
貸倒引当金繰入額	0	1
その他	157	164
販売費及び一般管理費合計	254	265
営業利益	326	274
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	27	31
雑収入	8	10
営業外収益合計	40	46
営業外費用		
賃貸費用	1	1
雑支出	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	365	318
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
特別損失合計	0	2
税引前四半期純利益	365	316
法人税、住民税及び事業税	86	57
法人税等調整額	32	24
法人税等合計	119	81
四半期純利益	246	235

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	912	1,202	902	1,704	4,722	467	5,189
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	912	1,202	902	1,704	4,722	467	5,189
セグメント利益	113	48	80	73	316	10	326

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	液体調味食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	946	1,135	831	1,677	4,591	452	5,044
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	946	1,135	831	1,677	4,591	452	5,044
セグメント利益	94	19	86	65	266	7	274

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。